

令和8年度水稲の高温対策研修会 開催要領

1 目 的

近年の水稲栽培において出穂期後の高温による白未熟粒などの高温登熟障害の発生や、イネカメムシの加害による収量・品質の低下が課題となっています。

水稲の収量・品質の向上に向けては、その年の気象条件に合わせた栽培管理が重要となります。そこで、中干し後から収穫後に役立つ水稲の高温対策等について情報提供し、各産地で栽培管理に役立ててもらうことを目的に、本研修会を開催します。

2 主 催 千葉県

3 共 催 全国農業協同組合連合会千葉県本部

4 日 時

令和8年6月18日（木）午後1時30分～午後4時15分
（受付・オンライン入室：午後1時から）

5 開催方法

会場とオンライン配信のハイブリッド形式で開催します。

お申込み時に（1）又は（2）を選択してください。

（1）会 場 参 加：農林総合研究センター大会議室（千葉市緑区大金沢町180番地1）

（2）オンライン参加：開催前日までに、お申込み時に登録のあったメールアドレス宛てにミーティング ID、パスワードをお知らせします。

6 内 容

（1）講演：中干し後から収穫後までの栽培管理のポイント

ア 本年の水稲の生育状況について

生産振興課 水田農業対策室 技師 有馬 佳宣 氏

イ 水稲の高温登熟障害の発生要因ごとの対策について

担い手支援課 専門普及指導室 上席普及指導員 小林 孝太郎 氏

ウ 近年の高温条件下における被覆肥料の溶出時期と水稲の生育・収量との関係

農林総合研究センター水稲・畑地園芸研究所水稲温暖化対策研究室 室長 平井 達也 氏

エ 水稲の高温対策に係る肥料等の資材について

全国農業協同組合連合会千葉県本部

オ 「イネカメムシ」に対する有効薬剤と防除適期

農林総合研究センター 病理昆虫研究室 上席研究員 清水 健 氏

カ 収穫時におけるコンバインの適正な走行方法

環境農業推進課 肥料・農薬班 副主査 小野瀬 優哉 氏

山武農業事務所 改良普及課 普及指導員 玉理 温基 氏

(2) 質疑応答

質疑応答は会場参加の方を優先して質問を受け付けます。

7 参加費 無料

8 参集範囲 県内生産者、全国農業協同組合連合会千葉県本部、農業協同組合、市町村、千葉県（関係課、農業事務所、農林総合研究センター、農業大学校）等

9 申込方法

令和8年6月10日（水）までに、ちば電子申請サービスでの登録、又は電子メールやFAXでお申し込みください。

(1) ちば電子申請サービス

スマートフォンやタブレットで右の二次元バーコードを読み取るか、以下のURLにアクセスしてください。



https://apply.e-tumo.jp/pref-chiba-u/offer/offerList_detail?tempSeq=60578

(2) 電子メール・FAX

申込様式を記入し、下記の送信先へお送りください。

メール：ninaite04@mz.pref.chiba.lg.jp

FAX：043-201-2615

10 お問い合わせ先

千葉県農林水産部担い手支援課 専門普及指導室

電話：043-223-2911

メール：ninaite04@mz.pref.chiba.lg.jp

11 その他

- ・後日、本研修会の動画を県公式YouTubeにて配信予定です。
当日参加できない方はそちらをご覧ください。